

カリキュラムマップ：外国語学部 日本語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー								
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
				(1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。 (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。	(1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。 (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。			(1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。 (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。		(1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。 (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
1	リサーチ・スキルズ	通年	講義				○				
2	文章表現法A	半期	講義	○			○				
3	文章表現法B	半期	講義	○			○				
4	キャリア・プランニングA	半期	講義	○					○		
5	キャリア・プランニングB	半期	講義	○					○		
6	日本語学概論	通年	講義		○	○		○			○
7	日本語学基礎演習	通年	講義		○	○	○	○			
8	言語学概論	通年	講義		○	○		○			○
9	日本語学1A	半期	講義		○	○		○	○	○	
10	日本語学1B	半期	講義		○	○		○	○	○	
11	日本語学2	通年	講義		○	○		○			
12	日本語学3	通年	講義		○	○		○			
13	日本語学4	通年	講義		○	○		○			
14	日本語学5A	半期	講義		○	○		○			
15	日本語学5B	半期	講義		○	○		○			
16	日本語学演習A	半期	演習		○	○		○			
17	日本語学演習B	半期	演習		○	○		○			
18	音声学	通年	講義		○	○		○			
19	言語学特殊講義1	通年	講義		○	○		○			
20	言語学特殊講義2	通年	講義		○	○		○			
21	日本語情報処理研究	通年	講義		○	○		○			
22	日本語教育学概論	通年	講義			○		○			○
23	多文化社会A	半期	講義			○		○	○	○	○
24	多文化社会B	半期	講義			○		○	○	○	○
25	日本語教育学	通年	講義			○		○			

カリキュラムマップ：外国語学部 日本語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。 (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。		(1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。 (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。		(1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。 (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。		(1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。 (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
26	応用言語学（第2言語習得論）	通年	講義		○	○		○			
27	日本語教育学演習 1	通年	演習			○	○	○			
28	日本語教育学演習 2	通年	演習			○	○	○			
29	日本語教授法A	半期	講義			○		○			
30	日本語教授法B	半期	講義			○		○			
31	日本文学概説	通年	講義						○	○	
32	日本文学史概説A	半期	講義						○	○	
33	日本文学史概説B	半期	講義						○	○	
34	古文講読 1 A	半期	講義						○	○	
35	古文講読 1 B	半期	講義						○	○	
36	古文講読 2	通年	講義						○	○	
37	日本文化学概説A	半期	講義			○			○	○	○
38	日本文化学概説B	半期	講義			○			○	○	○
39	漢文講読	通年	講義						○	○	
40	日本文化特別演習 A	半期	演習			○			○	○	
41	日本文化特別演習 B	半期	演習			○			○	○	
42	書道（仮名）	通年	講義						○	○	
43	書道（漢字）	通年	講義						○	○	
44	日本語特別演習 1 A（教える・学ぶ）	半期	演習	○		○	○		○		○
45	日本語特別演習 1 B（教える・学ぶ）	半期	演習	○		○	○		○		○
46	日本語特別演習 2 A（教える・学ぶ）	半期	演習	○		○	○		○		○
47	日本語特別演習 2 B（教える・学ぶ）	半期	演習	○		○	○		○		○
48	日本語特別演習 3 A（キャリア生活のための日本語）	半期	演習	○		○	○		○		○
49	日本語特別演習 3 B（キャリア生活のための日本語）	半期	演習	○		○	○		○		○
50	語彙・読解中級 A	半期	講義	○							

カリキュラムマップ：外国語学部 日本語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
(1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。 (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。				(1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。 (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。				(1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。 (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。		(1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。 (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
51	語彙・読解中級B	半期	講義	○							
52	語彙・読解上級A	半期	講義	○							
53	語彙・読解上級B	半期	講義	○							
54	英語リーディング1 A	半期	講義	○		○		○			
55	英語リーディング1 B	半期	講義	○		○		○			
56	英語コンプリヘンシブ1 A	半期	講義	○		○		○			
57	英語コンプリヘンシブ1 B	半期	講義	○		○		○			
58	英語コミュニケーション1 A	半期	講義	○		○		○			
59	英語コミュニケーション1 B	半期	講義	○		○		○			
60	英語リーディング2 A	半期	講義	○		○		○			
61	英語リーディング2 B	半期	講義	○		○		○			
62	英語コンプリヘンシブ2 A	半期	講義	○		○		○			
63	英語コンプリヘンシブ2 B	半期	講義	○		○		○			
64	英語コミュニケーション2 A	半期	講義	○		○		○			
65	英語コミュニケーション2 B	半期	講義	○		○		○			
66	英語コンテンツ・スタディ A	半期	講義	○		○		○			
67	英語コンテンツ・スタディ B	半期	講義	○		○		○			
68	英語コンプリヘンシブ3 A	半期	講義	○		○		○			
69	英語コンプリヘンシブ3 B	半期	講義	○		○		○			
70	英語コミュニケーション3 A	半期	講義	○		○		○			
71	英語コミュニケーション3 B	半期	講義	○		○		○			
72	日本語理解（中級）A	半期	講義	○		○					
73	日本語理解（中級）B	半期	講義	○		○					
74	日本語表現（中級）A	半期	講義	○		○					
75	日本語表現（中級）B	半期	講義	○		○					

カリキュラムマップ：外国語学部 日本語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。 (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。		(1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。 (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。		(1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。 (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。		(1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。 (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
76	日本語古典文法A	半期	講義	○		○			○		
77	日本語古典文法B	半期	講義	○		○			○		
78	日本語理解（上級）A	半期	講義	○		○					
79	日本語理解（上級）B	半期	講義	○		○					
80	日本語表現（上級）A	半期	講義	○		○					
81	日本語表現（上級）B	半期	講義	○		○					
82	日本事情A	半期	講義			○			○		○
83	日本事情B	半期	講義			○			○		○
84	日本語漢字A	半期	講義	○		○					
85	日本語漢字B	半期	講義	○		○					
86	日本語選択1A(理解とコミュニケーションA)	半期	講義	○		○					
87	日本語選択1B(理解とコミュニケーションB)	半期	講義	○		○					
88	日本語選択2A(資料・文献読解A)	半期	講義	○		○					
89	日本語選択2B(資料・文献読解B)	半期	講義	○		○					
90	日本語選択3A(日本語文章表現A)	半期	講義	○		○					
91	日本語選択3B(日本語文章表現B)	半期	講義	○		○					
92	日本の政治・経済・社会A	半期	講義					○	○		○
93	日本の政治・経済・社会B	半期	講義					○	○		○
94	日本の文化・芸術A	半期	講義					○	○		○
95	日本の文化・芸術B	半期	講義					○	○		○
96	日本の歴史A	半期	講義					○	○	○	
97	日本の歴史B	半期	講義					○	○	○	
98	卒業研究	通年	演習			○	○	○	○		○
99	専門演習1	通年	演習			○	○	○	○		○
100	専門演習2	通年	演習			○	○	○	○		○

カリキュラムマップ：外国語学部 日本語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
(1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。 (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。				(1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。 (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。				(1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。 (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。		(1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。 (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
101	専門演習3	通年	演習			○	○	○	○		○
102	専門演習4	通年	演習			○	○	○	○		○
103	専門演習5	通年	演習			○	○	○	○		○
104	専門演習6	通年	演習			○	○	○	○		○
105	専門演習7	通年	演習			○	○	○	○		○
106	専門演習8	通年	演習			○	○	○	○		○
107	コリア語初級A	半期	講義		○	○		○		○	○
108	コリア語初級B	半期	講義		○	○		○		○	○
109	スペイン語上級A	半期	講義		○	○		○		○	○
110	スペイン語上級B	半期	講義		○	○		○		○	○
111	ロシア語初級A	半期	講義		○	○		○		○	○
112	ロシア語初級B	半期	講義		○	○		○		○	○
113	アラビア語初級A	半期	講義		○	○		○		○	○
114	アラビア語初級B	半期	講義		○	○		○		○	○
115	モンゴル語初級A	半期	講義		○	○		○		○	○
116	モンゴル語初級B	半期	講義		○	○		○		○	○
117	ベトナム語初級A	半期	講義		○	○		○		○	○
118	ベトナム語初級B	半期	講義		○	○		○		○	○
119	情報処理研究1A	半期	講義		○		○				
120	情報処理研究1B	半期	講義		○		○				
121	情報処理研究2A	半期	講義		○		○				
122	情報処理研究2B	半期	講義		○		○				
123	情報処理研究3A	半期	講義		○		○				
124	情報処理研究3B	半期	講義		○		○				
125	国際関係論A	半期	講義		○			○			○

カリキュラムマップ：外国語学部 日本語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
(1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。 (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。				(1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。 (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。				(1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。 (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。		(1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。 (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
126	国際関係論B	半期	講義		○			○			○
127	国際経済論A	半期	講義		○			○			○
128	国際経済論B	半期	講義		○			○			○
129	国際法A	半期	講義		○			○			○
130	国際法B	半期	講義		○			○			○
131	移民政策A	半期	講義		○			○	○		○
132	移民政策B	半期	講義		○			○	○		○
133	民法A	半期	講義						○		○
134	民法B	半期	講義						○		○
135	商法A	半期	講義						○		○
136	商法B	半期	講義						○		○
137	会計学A	半期	講義						○		○
138	会計学B	半期	講義						○		○
139	マスコミュニケーション論A	半期	講義						○		○
140	マスコミュニケーション論B	半期	講義						○		○
141	東アジア地域研究A	半期	講義	○				○		○	○
142	東アジア地域研究B	半期	講義	○				○		○	○
143	東南アジア地域研究A	半期	講義	○				○		○	○
144	東南アジア地域研究B	半期	講義	○				○		○	○
145	アメリカ研究A	半期	講義	○				○			○
146	アメリカ研究B	半期	講義	○				○			○
147	南米地域研究A	半期	講義	○				○			○
148	南米地域研究B	半期	講義	○				○			○
149	オーストラリア研究	半期	講義	○				○			○
150	ニュージーランド研究	半期	講義	○				○			○

カリキュラムマップ：外国語学部 日本語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。 (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。		(1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。 (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。		(1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。 (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。		(1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。 (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
151	教科教育法(国語) 1 A	半期	講義	○	○		○				
152	教科教育法(国語) 1 B	半期	講義	○	○		○				
153	教科教育法(国語) 2 A	半期	講義	○	○		○				
154	教科教育法(国語) 2 B	半期	講義	○	○		○				